

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機
第110期中間ご報告

2025年3月1日 ▶ 2025年8月31日

(証券コード: 6506)

株式会社 安川電機

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2025年度中間期における当社グループの事業遂行状況は、ACサーボ事業においてはグローバルにおける半導体市場の需要は、AI関連に投資が集中する一方で、日本国内の電子部品市場では販売が増加しました。インバータ事業は、主力の米国市場が米国関税の影響による不透明感が継続する中でも堅調に推移しましたが、中国やアセアン地域ではインフラ投資の減少影響を受ける結果となりました。ロボット事業については、欧米で自動車市場における投資が停滞する中、中国・韓国での大型案件の受注が売上に貢献しました。このような状況において、当社グループの業績は、売上収益・営業利益ともに前年同期とほぼ同水準で推移しました。

2025年度下期につきましては、開発面・生産面・販売面において以下の取組みを加速してまいります。

開発面では、農業分野の自動化ソリューションを事業化へと進めるとともに、医療分野では製薬会社との合弁会社を設立し、細胞医療領域でのプラットフォームビジネスを立ち上げます。また、ヒューマノイドロボット向けのアクチュエータの開発・製品化も進めてまいります。

生産面については、「i³-Mechatronics (アイキューブ メカトロニクス)」コンセプトを体現する戦略的生産拠点として、ロボットとモータの一貫生産を行う「ロボット第5工場 (福岡県北九州市)」の本格稼働に向けて準備を加速します。

販売面では、戦略製品である“自律ロボットMOTOMAN NEXT^{*1}”の導入実績を積み重ねるとともに、その実績の横展開を図ります。また“iCube Control^{*2}”や“Σ-Xシリーズ^{*3}”の導入事例も拡大させ、国内の半導体・自動車市場の設備投資動向を的確に捉え、受注機会の最大化と売上への確実なつなぎ込みを目指します。さらには、インバータ事業を中心に成長を続けるインド市場において、将来の拡大を見据えた投資を着実に進めていきます。

中期経営計画「Realize 25」の最終段階を迎えるにあたり、従業員一人ひとりが“One YASKAWA”の文化醸成の意識を強く持ち、全社一丸となって取組みを進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

*1: 2023年11月より販売を開始した、業界初の自律性を持った次世代ロボット。ロボット自身が周辺環境に適応し、判断・実行する。

*2: 2024年1月から展開を開始した、i³-Mechatronicsを実現する当社独自のコントローラソリューション。

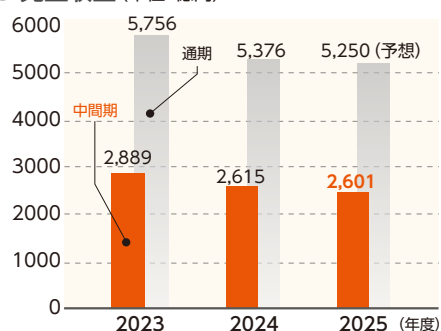
*3: 「ACサーボドライブ“Σ”シリーズ」の新しいラインアップ (2021年3月販売開始)。さらなる高機能とセンシングデータ活用機能を搭載。

2025年10月

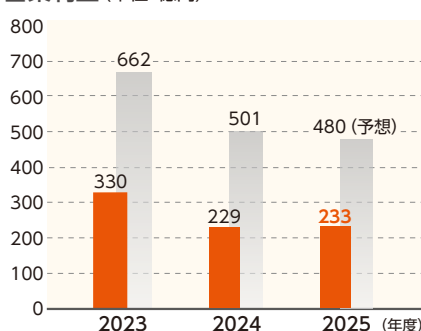
代表取締役社長

小川 昌寛

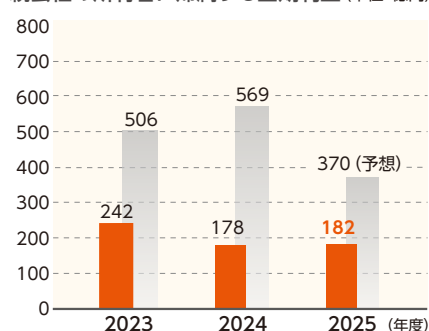
● 売上収益 (単位: 億円)



● 営業利益 (単位: 億円)



● 親会社の所有者に帰属する当期利益 (単位: 億円)



セグメント別の概況

モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラ、インバータなどの製品は、機械や生産設備の高度化・省力化に貢献しています。

■経営成績

ACサーボモータ・コントローラにおいては、米州・アジアの半導体市場向けの販売が減少したものの、日本の電子部品市場向けを中心に販売が大きく増加したため、売上収益は微増しました。

インバータにおいては、米国の太陽光発電用パワーコンディショナや空調用途向けの販売が堅調に推移しましたが、オイル・ガス用途向けの販売減少により減収となりました。

これらの結果、セグメント全体の売上収益は、受注残の正常化を進めた前年同期に比べ減収となったものの、日本と欧州における需要の回復を確実に売上につなげたことで、想定通りの着地となりました。利益面については、付加価値の改善や間接費の抑制をさらに進めたことで、増益となりました。

■新製品

ACサーボドライブ「Σ-Xシリーズ」の400V入力仕様を販売開始

ACサーボドライブ「Σ-Xシリーズ」に、400V入力仕様が新たに加わりました。欧州やアジアの電源環境にそのまま対応でき、降圧トランスが不要となります。装置や設備における設計の自由度が広がり、導入コストや工数の削減にもつながります。グローバル展開を進めるお客さまに、最適なソリューションをご提供します。

売上収益 前年同期比 △5.5%

1,128億37百万円

営業利益 前年同期比 +9.2%

120億24百万円



ACサーボドライブ「Σ-Xシリーズ」400V入力仕様

ロボット

自動車関連市場を中心に、様々な産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。

■経営成績

自動車市場において、日本・米州での設備投資計画見直しの影響を受けましたが、中国・アジアでは堅調な需要に支えられ、売上収益は前年同期比で増加しました。利益面については、当期における一時的な売上案件のミックスの影響によりわずかに減少しました。

■新製品

多用途適用型ロボットMOTOMAN-GPシリーズに新しいラインアップを追加 「MOTOMAN-GP280L/GP360」、「MOTOMAN-GP10」

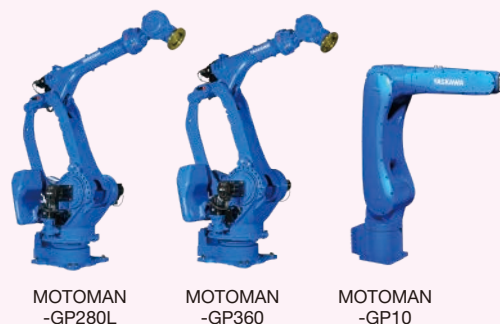
MOTOMAN-GPシリーズの新たなラインアップとして、「MOTOMAN-GP280L/360」と、「MOTOMAN-GP10」を販売開始しました。「MOTOMAN-GP280L/360」は、高可搬・ロングリーチを特長としており、重量化・密集化が進む自動車製造工程の省スペース化に貢献し、「MOTOMAN-GP10」は、従来の小型機種ラインアップの省スペース性や軽量を維持しながら、動作領域と可搬重量を拡大し、幅広い領域での自動化に貢献いたします。今後も製品ラインアップを強化し、お客さまニーズへの対応力を向上してまいります。

売上収益 前年同期比 +6.4%

1,192億4百万円

営業利益 前年同期比 △0.5%

105億42百万円



システムエンジニアリング

1世紀にわたり培った技術と豊富な実績により、社会の安全・安心と豊かな暮らしを支えます。

■経営成績

上下水道用電気システムや港湾クレーン関連の販売が減少しましたが、鉄鋼プラント関連の販売が拡大し、売上収益は微増しました。

利益面については、鉄鋼プラント関連の販売増加による採算性改善や、売上増加に伴う利益増の影響により増益となりました。

売上収益 前年同期比 +0.5%

186億90百万円

営業利益 前年同期比 +3.7%

19億39百万円

米国ウィスコンシン州フランクリン市に新キャンパスを設立

YASKAWA America, Inc. (本社：イリノイ州ワキガン市) は、約1億8000万ドルを投資し、ウィスコンシン州フランクリン市に新たなキャンパスを設立いたします。現在、イリノイ州とウィスコンシン州にある本社・生産機能などを今後8～10年間かけて移転・集約します。米国では、インフレや人件費の高騰等を背景に、生産現場における自動化・省力化に対する設備投資の需要が急速に高まっています。これらの設備投資の需要に柔軟に対応するために、キャンパスの新設を通じて『需要地生産・販売』の考え方をベースに米国における技術・営業・生産・サービスが一体となった事業力を持つプレイヤーとしてのプレゼンスをさらに高めます。そして、お客さまやパートナー企業との信頼関係を強

化し、協創による価値創出を実行することで、米国での将来的な競争力の強化に取り組んでまいります。



新キャンパス内の工場

関西支店を新設

2025年3月、関西地区に点在していた大阪支店・関西サービスセンタ・関西ロボットスクールを統合し、関西支店を新設しました。これまで分散していた、販売機能(中核販売社を含む)とサービス拠点、モーションおよびロボットのスクールといった各機能を統合することで、市場の開拓や販売チャネルの強化を行い、売上拡大と新たな価値創出を目指していきます。今後も、お客さまが求める「コト」と真摯に向き合い、新たなビジネスやチャネルを創出する拠点として、安川グループの総合力を最大限に発揮できる関西支店に進化していきます。



関西支店の外観とトレーニングルーム

トピックス

「FOOMA JAPAN 2025」に出展

当社は2025年6月10日(火)～13日(金)の4日間、東京ビッグサイトで開催された「FOOMA JAPAN 2025」に出展しました。自律ロボット「MOTOMAN NEXT」をはじめ、食品仕様ロボット「MOTOMAN-GP8」による惣菜容器のふた閉め自動化セル、完全人工光型植物工場システム「アグリネ」等のソリューションを展示し、当社が目指すサステナブルな社会の実現に向けた取組みを訴求しました。



当社ブースの様子

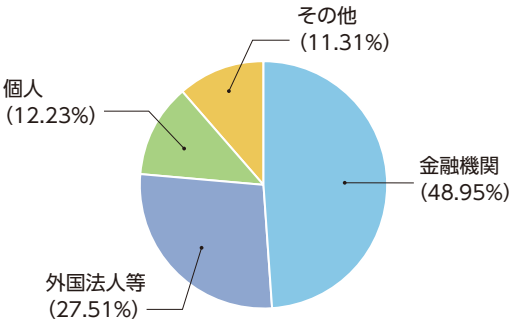
●株式の状況 (2025年8月31日現在)

- 発行済株式の総数 266,690,497 株
- 株主数 62,096 名
- 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	48,602	18.69
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	26,669	10.25
株式会社みずほ銀行	8,100	3.11
明治安田生命保険相互会社	7,230	2.78
THE BANK OF NEW YORK 133969	6,409	2.46
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	5,208	2.00
株式会社福岡銀行	5,100	1.96
JP MORGAN CHASE BANK 385781	3,747	1.44
株式会社西日本シティ銀行	3,438	1.32
株式会社北九州銀行	3,296	1.27

(注)持株比率は、自己株式(6,623千株)を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



■配当金情報

第110期(自2025年3月1日 至2026年2月28日)配当について			
中間配当	1株につき	34円	
期末配当	1株につき	34円(予想)	
年間	1株につき	68円(予想)	

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会開催月/配当金受領株主確定日	5月/毎年2月末日および8月31日
公告方法	電子公告 (https://www.yaskawa.co.jp/ir/)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

■未払配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。
定款の定めにより配当金の支払開始日から3年を超えてのお支払いはできかねますので、お早めにお受け取りをお願いいたします。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き、マイナンバーのお届出など

- 証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に口座をお持ちでない株主さま (特別口座に記録されている株主さま) みずほ信託銀行 (下記) にお問い合わせください。

■お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行 証券代行部



0120-288-324 (土・日・祝日を除く 午前9時～午後5時)

YASKAWAレポート2025発行のご案内

<https://www.yaskawa.co.jp/>

当社グループの目指す中長期的な価値創造についてご理解いただくための情報を掲載しています。



株主・投資家情報をクリック



統合報告書
「YASKAWAレポート」



安川電機

検索

YASKAWAレポート2025

今年のレポートでは、10年後のありたい姿に向けて、グローバルに挑戦し続ける当社グループの姿勢や取り組みについて、これまで以上に具体的な説明を心がけました。ぜひご覧ください。



QRコード
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

本冊子に記載の数値は切り捨て、比率については四捨五入しており、決算補足資料など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。